

【2015 年度 RFLJ プロジェクト未来 助成研究者の横顔 17 能正 勝彦先生】

第 17 弾は「基礎研究・臨床研究」（I 分野）よりご紹介致します。

◆札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科学

◆研究テーマ「消化器癌の発癌予防や個別化治療を目指した常在微生物群ゲノムの解析」

◆助成金額 100 万円

1. 研究者になろうとしたきっかけ

医師として癌患者さんの日常臨床に携わってみて、そのメカニズムはまだまだ解明されていないことが山積みであると思ったからです

2. 助成研究の内容紹介

遺伝子解析技術の進歩によりヒトの体内に膨大に存在する **microbiome**（生物環境を構成する常在微生物群ゲノムの総称）と疾患の関連についての研究が急速に発展しています。この細菌叢の異常が炎症のみならず、代謝、免疫そして発癌にも重要な役割を担っていることが明らかになってきておりますが、日本人の消化器癌におけるデータはほとんど皆無です。そこで本研究では消化器癌で重要な役割を果たす **microbiome** を同定し、癌の分子異常や免疫応答、環境因子との関連、さらに人種差についても検討する予定です。

3. 2 の将来に繋がる結果予想

消化器癌における **microbiome** の役割を明らかにすることで、その発現プロファイルに基づくサーベイランス、除菌治療による発癌予防など様々な臨床応用が可能と考えられます。また癌に潜む菌種が腫瘍免疫を制御することも明らかになりつつありますので、最近、注目されている免疫療法などへの応用も期待されます。

4. 全国の RFLJ 関係者に一言

本研究を成功に導くためには多くの消化器癌臨床検体が必要です。そこで興味のある方には検体をご提供いただき、共同研究を進めることができれば幸いです。